

～存在感のあるJAを目指して～

その1 農家組合員の所得増大と農業生産の拡大に取り組んでいます！

- ①主食水稻ほ場の高度利用による大麦栽培を始めました。反当り所得は5万円増が目標です。
- ②転作小麦を管内全域で大麦転換する需要を確保しました。転換後農家収入は約2億5千万円増／年を見込んでいます。
- ③水稻栽培での新技術「高密度播種育苗」を一般普及に向けて検証しました。今後、大幅な省力化と生産費削減が可能です。
- ④農業ICT/IoT技術の現場検証を進めています。自動操舵の農業機械、自動給水機、ハウス温度管理等の場面で今後活用が期待できます。
- ⑤キャベツやタマネギを中心に、水田野菜の機械化一貫体系の確立による新たな営農モデルの構築に取り組んでいます。反当り所得で10万円(3ヶ年平均値)を実現しています。
- ⑥肥料銘柄の集約や、超大型規格農薬の取扱いによりJA共同購入の力を発揮して生産資材コストの低減に取り組み、多くのご利用をいただいています。
- ⑦米政策改革により組合員の農業経営の安定化実現のため、需要に基づく生産販売体制への移行を進めています。特に米では、複数年での播種前契約により計算のできる農業経営を提案しています。



その2 組合員と地域住民のくらしの支援に取り組んでいます！

- ①1支店1協同活動の取組みに力をいれています。
 - 地域美化 ●防犯訓練 ●ふれあい俳句の募集・掲示
 - 地域の祭りへの積極的参加 ●支店ふれあい祭の開催
- ②女性部を中心に「新たな仲間づくり」に取り組んでいます。第2回「女性フェスタ・家の光大会」では、管内285名の女性にご参加いただき、開催をさせていただきました。
- ③JA北びわこ女性大学(Smile)を立ち上げ、第1期生は16名、第2期生は17名が受講、楽しく新たなことを経験し、自身の可能性を広げる場を常に提供しています。
- ④管内の小学校や、養護学校に出向き、食農教育の出前授業を行い、児童たちに「農業に関する知識や体験」を深めてもらう取り組みを行っています。
- ⑤JA組合員組合健診の充実と「100歳プロジェクト」の取り組みを進めています。

